

会 議 録

会 議 名	第 2 6 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 7 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	令和 3 年 2 月 2 日（火）午前 9 時 3 0 分～1 0 時 3 0 分		
開 催 場 所	学習室 B		
出 席 委 員	阿部光子委員、今村誠委員、大野芳輝委員、金ヶ江博紀委員、 齊藤美恵子委員、高橋陽子委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	松本浩明主任、山崎敬広主任、永嶋汐美		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者 数	なし
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会（1月22日開催）の報告</p> <p>2 令和3年度の講座等について</p> <p>3 各講座の計画</p> <p>〔計画〕成人学校「使い方を学んで生活を便利に シニア向け スマホ講座」、成人学校「水引細工で作る ハートの ポチ袋」、成人学校「正絹を縫う つるし雛作り」、音 楽鑑賞のつどい「スプリングコンサート アンサン ブルフローラ」、市民講座「自宅で揃えておきたい防 災用品」、成人学校「ウクレレ入門」</p> <p>〔令和3年度〕高齢者学級「けやき学級」</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館中長期計画（案）のパブリックコメントについて ・新型コロナウイルスワクチン接種会場候補について <p>次回の日程 令和3年3月2日（火）午前9時30分～</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会（1月22日開催）の報告

(1) 報告事項

ア 緊急事態宣言に対する公民館の対応について

1月8日から2月7日（予定）の間、利用は午後8時での退館での対応。各部屋の許容人数は定員の半数、常時換気、検温、手指消毒でのご利用は変更なし。公民館主催講座は現状、中止及び開催時期の変更が生じている講座もある。

イ 都公連委員部会運営委員会について

昨年11月25日に町田市中央公民館で研究大会第4回課題別集会の町田市、国立市によるミニ事例発表と安藤聡彦さん（埼玉大学教授）の助言で行い、レポートを2月10日から都公連のホームページで配信を行う。12月23日の第9回委員会では、情報交換テーマの「公民館からの情報発信のあり方」では、コロナ禍での各市の新しい発信形態を検証、西東京市ではLINEを利用したセミナー等のオンライン会議をデモで行った事例もあり、小金井市の公民館利用率がコロナ禍で減少していることから、平成15年には文科省もインターネット活用に努めることとしていることから、小金井市としての今後の公民館の指針を委員に提示してもらいたいとの意見が出された。

ウ 東京都公民館研究大会企画委員会について

「コロナ時代に向き合う公民館～新しい生活様式と公民館」をメインテーマに長澤成次（千葉大学名誉教授）の基調講演、第1から4の課題別集会の事例報告や助言者による内容は、2月10日から令和4年1月31日まで都公連ホームページで掲載を行う。

エ 公民館事業の報告について

公民館貫井南分館からは、成人学校「水引細工で作る 梅結びのリース」、「植物観察～身近な自然を学びましょう」、「書に親しむ」、「親子で学ぼう スマホデビューの危機回避術」、「かるーい粘土でデコレーション お部屋華やぐマカロンのミニフレーム」、高齢者学級「けやき学級」を提出。質疑なし。本館の成人学校「はじめの一步！手話でコミュニケーション」について、住みやすい街づくりの大切さから何回か行ってもらいたい、また、緑分館の子ども体験講座「親子で星空観察」は緑センターのPRを兼ねて、毎年行ってみたいとの意見が出された。

(2) 協議事項

ア 小金井市公民館中長期計画について

菅沼委員、新井委員からの修正、協議結果の修正を加えたもので計画案として1月27日からのパブリックコメントを行い、意見とその回答及び市民説明会での意見を含め、3月3日の公運審へ示すこととなる。2月7日（日）に公民館東分館、14日（日）に貫井北分館で市民説明会を実施する。市民説明会はコロナ禍ということもあり、申込によるものとした。

(3) 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館からは、成人学校「水引細工で作るハートのポチ袋」、「正絹縫う つるし雛作り」、市民講座「自宅で揃えておきたい防災用品」を提出、質疑なし。

(4) その他

・緑分館の「生活日本語教室」が中止となった。

2 令和3年度の講座等について

市民講座（案）として（仮称）「オリンピック・パラリンピックの魅力と聖火リレー」を5月15日（日）、22日（土）午前10時から正午に開催予定。講師に真田久さん（筑波大学体育系教授）を迎え、15日は「オリンピックとパラリンピックの魅力」、22日は「聖火リレーの意味と見どころ」、市報4月15日号となる予定。また、市民講座で（仮称）「いざという時のためのキャンプ術講座」を検討中。講師はキャンプ術、防災のいずれかを主眼とするかで変わってくる。実施時期については、まだ未定。

3 各講座の計画

【計 画】

〔令和2年度〕

○成人学校「使い方を学んで生活を便利に シニア向けスマホ術」

1月22日（金）午後1時から開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言発出中であり、参加者の年齢が60歳台から80歳台ということ、実施がスマホ通信業者であり実施に当たり不安感も拭えないことから中止となった。中止の連絡を行った際に、またの実施希望のご意見があったことから、来年度以降の実施を検討する。

○成人学校「水引細工で作る ハートのポチ袋」

2月6日（土）午前10時から正午に学習室A Bで開催予定。キャンセルの連絡はまだない。

○成人学校「正絹を縫う つるし雛作り」

2月12日（金）、19日（金）、26日（金）午前10時から正午に学習室Aで開催予定。キャンセルの連絡はまだない。

○音楽鑑賞のつどい「スプリングコンサート アンサンブルフローラ」

3月14日（日）午後1時会場、1時30分開演で開催予定。楽曲も既に決定している。

○市民講座「自宅で揃えておきたい防災用品」

2月1日から電話申し込みを開始、定員20人のところ14人の応募となっている。

○成人学校「ウクレレ入門」

緊急事態宣言発出により公民館開館時間が午後8時までになった影響から1月14日（木）、21日（木）、28日（木）開催（3回）が未執行となっている。残りの3回分を2月14日（日）、21日（日）、28日（日）、3月7日（日）のうち、講師との日程調整を経てから決定し、受講生への連絡を行うこととなった。実施会場も学習室A Bから学習室Cに変更となる予定。

○成人学校「使い方を学んで生活を便利に シニア向けスマホ講座」

1月22日（金）午後1時から3時に開催予定。応募開始から2日で定員の20人が一杯となり、キャンセル待ちも5人まで応募された。年代別では60代が4人、70代が12人、80代が4人となり、応募地域も偏りはなかった。申し込みの際にスマホを既に持っている人のための講座開催希望もあった。

〔令和3年度〕

○高齢者学級「けやき学級」

カリキュラムは金ヶ江委員と2回の打ち合わせを行い、講師への交渉を経て、「渋沢栄一」に関する講義の他は決定した。野外学習については、新

型コロナ感染状況から後半での実施、前半の遠足では、友達作りのために「江戸東京たてももの園」を設定している。なお、高齢者学級の担当者会議では定員を20人とした。参加費については委託館を除く直営館ではそれぞれ、参加費を見積ることとした。

4 その他

- ・公民館中長期計画（案）パブリックコメントの実施について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種会場候補について

次回の日程（予定） 令和3年3月2日（火）午前9時30分から学習室B